

燧灘貧酸素情報（第 5 号）

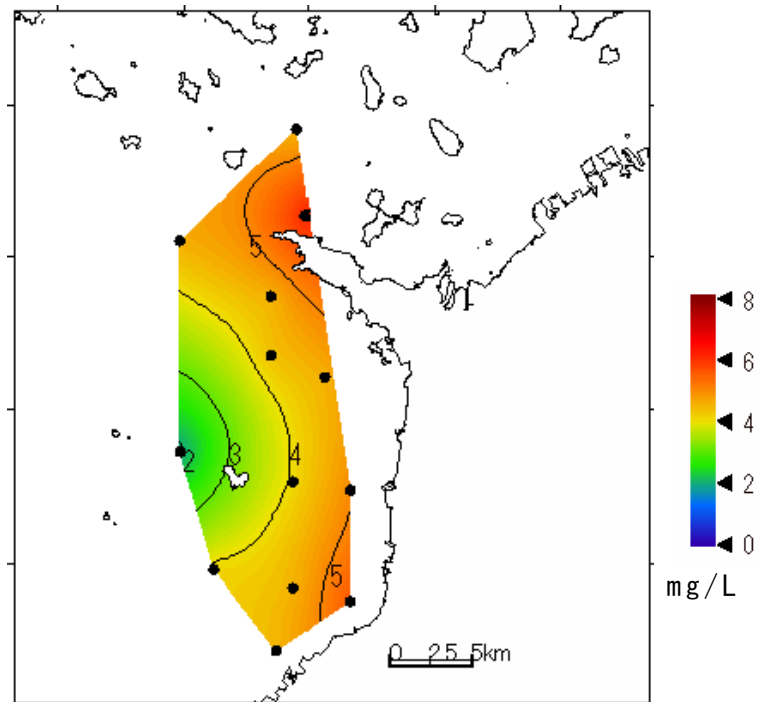
香川県水産試験場

9月11日観測結果

9月11日現在，底層の溶存酸素濃度は広範囲に回復し、1ヶ所で1を下回っています。今後，残暑が続くと再び貧酸素化が進行する可能性があるため，動向に注意する必要があります。

次回の調査は9月下旬を予定しています。

調査名：浅海定線調査
測定方法：ウインクラージ
化ナトリウム変法



底層の溶存酸素濃度

溶存酸素濃度（DO）の目安*

溶存酸素濃度	生物への影響
4.3mg/L 以下	魚類・甲殻類・底生生物（ベントス）に影響
3.6mg/L 以下	貝類に影響，甲殻類の生存困難
2.9mg/L 以下	底生生物（ベントス）の生存困難
2.2mg/L 以下	底生魚類の生存困難

* 漁場環境容量策定事業報告書（水産資源保護協会 1989）を参考にしています。